

令和3年11月11日

坪沼小学校跡施設利活用事業に係る公募型プロポーザルの審査の結果について

坪沼小学校跡施設の利活用を行う事業者の募集を公募型プロポーザル方式により実施し、次のとおり事業候補者を選定しました。

1 応募者数

3者

2 審査結果

(1) 事業候補者名及び次点者名

事業候補者：学校法人ろりぼっぷ学園

次点者：一般社団法人 solufaction

(2) 評価結果

		事業候補者	次点者	
		学校法人 ろりぼっぷ学園	一般社団法人 solufaction	応募者 C
事業提案評価点	70	49.00	36.00	38.75
価格評価点	30	26.83	30.00	25.54
総合評価（合計）	100	75.83	66.00	64.29

3 事業候補者の提案概要

- ・学校教育法第1条に規定する小・中学校を設置し、文部科学大臣から不登校特例校の指定を受ける。(R5.4月開校を計画)
- ・オランダで取り組まれている「イエナプラン」の考え方を取り入れ、学習内容を「自己選択・自己決定・自己対応」出来るように配慮することで、各自の興味・関心のある学習内容から活用し、自分の得意とする学び方で学ぶ場を提供する。
- ・地域団体と連携を図りながら、坪沼の自然・地域の人々との関わりを持続的・永続的に子供たちの学びにつなげていく。

4 審査講評（選定の理由）

- ・ 跡施設利活用の内容

運営のコンセプトとして地域コミュニティ（自然・人材）を活かした学びを挙げ、コミュニティスクールなどの提案がなされており、基本理念『自然とこころの癒しの場づくり』と合致している点が評価された。

- ・ 地域貢献の内容

スクールバス運転手や給食調理員の地元雇用や、地域づくりの拠点としての各種団体との連携、コミュニティスクールの設置、坪沼カフェの設置といった提案が、地域貢献度が高いと評価された。

- ・ 事業計画の具体性

特例校の設置に向けて検討を具体的に進めていることや、幼稚園・学童保育等の運営実績があることが実現可能性の高さとして評価された。

- ・ 資金計画の具体性

入学者の学納金、私立学校運営費補助金（県）、自己資金により、長期にわたり事業継続が可能な資金計画であることが示された。

5 選定経過

令和3年7月 8日	第1回仙台市坪沼小学校跡施設利活用事業に係る公募型プロポーザル審査委員会（以下、「審査委員会」という。） （募集要項、審査基準の協議等）
7月26日	募集要項の公表
10月 1日	応募書類の提出期限
10月29日	第2回審査委員会 （応募者へのヒアリング、事業候補者の選定）

6 問合せ先

仙台市財政局財政部財政企画課公共施設総合調整係 電話：022-214-8068